

# 第27回日本乳癌学会学術総会

乳がん患者の心と体のケア  
— 乳がんゲノム医療と支持医療 —



ランチョンセミナー20

## 抗癌剤脱毛を予防する!

— Bench から Home へ —

**日時** 2019年7月12日(金) 11:50~12:40

**会場** 新宿NSビル30階 第10会場 (ホールA・B)

**座長**

公益財団法人東京都保健医療公社  
荏原病院 院長

**黒井 克昌**先生

**演者**

なぜ脱毛は生じるの？

「基礎研究から見えてきたもの」

大分大学医学部  
消化器・小児外科学講座 教授

**猪股 雅史**先生

**演者**

どうしたら予防できるの？

「臨床研究から見えてきたもの」

大分大学医学部  
消化器・小児外科学講座

**佐川 倫子**先生

●ランチョンセミナーは整理券制になります。セミナー開催当日分のみ発行いたします。

●配付場所：京王プラザホテル5階ロビー ●配付時間：7月12日(金)7:00~11:20 ※なくなり次第、発券終了となります。※整理券はセミナー開始後に無効となります。





演者

大分大学医学部  
消化器・小児外科学講座 教授

猪股 雅史 先生

## ▶なぜ脱毛は生じるの？ 「基礎研究から見えてきたもの」

### 【はじめに】

がん患者の増加に伴い抗癌剤治療を受ける患者が増えている。脱毛は心的ダメージの大きな副作用があるにもかかわらずその有効な治療法は未だ存在しない。今回、この臨床的問題点に対して、抗癌剤治療による脱毛の予防剤開発を実現した。ここでは、シーズ発掘から、基礎研究、臨床パイロット研究について紹介する。

### 【ラットを用いた基礎研究】

ラット抗癌剤誘発脱毛モデルを用い、ラットの背部皮膚に $\alpha$ リポ酸誘導体含有軟膏を塗布し、脱毛の程度、皮膚組織の病理解析を行った。1%塗布群で、著明な脱毛抑制効果を認め、病理組織像にて毛根・毛幹の破壊の軽減、炎症細胞浸潤所見の減少を認めた。アポトーシスの指標であるカスパーゼ活性は、対照群と比べ低値であった。

### 【乳癌患者を対象とした臨床研究(パイロット研究)】

倫理委員会承認の下、乳癌患者を対象に、術後抗癌剤投与期間中に $\alpha$ リポ酸誘導体1%含有ローションの塗布を行った。その結果、脱毛随伴症状(痛み、掻痒)の発生頻度が減少し、脱毛が著明に抑制された症例も認めた。また3-4回/日塗布群は1回/日塗布群と比較しその効果が高かった。

### 【まとめ】

抗癌剤誘発脱毛は、炎症、酸化、アポトーシスが関与し、 $\alpha$ リポ酸誘導は、いずれの作用も抑制し、脱毛予防効果を示すことが明らかになった。臨床応用には、投与濃度や回数を検討した上で、臨床試験による有効性評価が期待される。

## 略 歴

1988年3月 大分医科大学医学部卒業

1988年6月 大分医科大学医学部附属病院(研修医)

1990年4月 国立病院九州がんセンター 外科

1992年6月 国立大分病院 消化器外科

1993年4月 大分医科大学大学院医学研究科 入学

1994年5月 国立がんセンター研究所 病理部  
(対がん10年総合戦略・リサーチレジデント)

1997年3月 大分医科大学 大学院 修了 博士(医学)取得

1999年4月 大分医科大学医学部外科第一 助手

2003年4月 大分大学医学部総合外科学第一 講師

2010年4月 大分大学医学部総合外科学第一 准教授

2011年9月 米国コーネル医科大学 大腸外科 (NY)  
Visiting fellow  
(厚生労働科学研究海外派遣事業)

2011年10月 大分大学医学部総合外科学第一 准教授  
(消化器外科 診療科長)

2014年10月 大分大学医学部消化器・小児外科学講座 教授

### 【専門医資格】

消化器外科、内視鏡外科、腫瘍外科学

### 【主な学会・資格】

日本外科学会: (代議員)

日本消化器外科学会: (理事)

日本内視鏡外科学会: (理事)

日本臨床外科学会: (評議員)

日本がん分子標的治療学会: (評議員)

日本乳癌学会

ASCO (Active member)

ESMO (Active member)

ISS/ICS (Active member)

### 【特許】

がん化学療法誘発脱毛に対する抗脱毛用組成物: 特願  
2010-208621



演 者

大分大学医学部  
消化器・小児外科学講座

佐川 倫子 先生

## ▶ どうしたら予防できるの？ 「臨床研究から見えてきたもの」

Chemotherapy-induced alopecia (CIA) はボディイメージに大きな影響を及ぼすため、患者にとって最も苦痛な抗癌剤副作用の一つであるが、現在、CIAを完全に予防する薬剤や装置は存在しない。

今回我々は、動物実験において抗癌剤脱毛予防効果を有した $\alpha$ リポ酸誘導体の塗布が乳癌患者の抗癌剤脱毛 (Chemotherapy induced alopecia; CIA) に対し予防効果のあるかどうかを検証するための第II相臨床試験を施行した。乳癌補助化学療法施行予定101名に、抗癌剤使用期間中 $\alpha$ リポ酸誘導体含有製剤を塗布し、抗癌剤脱毛が予防できるかどうか検討した。結果は、全例でGrade2 (CTCA Ever4.0) の脱毛が発生した。

抗癌剤終了後3ヶ月で、71例(71%)が脱毛Gradeが1以下まで回復した。また、6ヶ月以降の脱毛Gradeは全例1以下であった。この臨床試験の詳細な結果を含め、脱毛の客観的評価方法の検討など含めて報告したい。

### 略 歴

2006年	北海道大学医学部卒業	2016年6月	社会医療法人敬愛会中頭病院乳腺外科
2006年	JA帯広厚生病院初期臨床研修医	2017年4月	大分大学医学部消化器・小児外科学講座 入局
2008年	医療法人鉄蕉会亀田総合病院 乳腺科		現在に至る
2016年4月	大分大学大学院入学		

### MEMO

---

---

---

---

---

---